

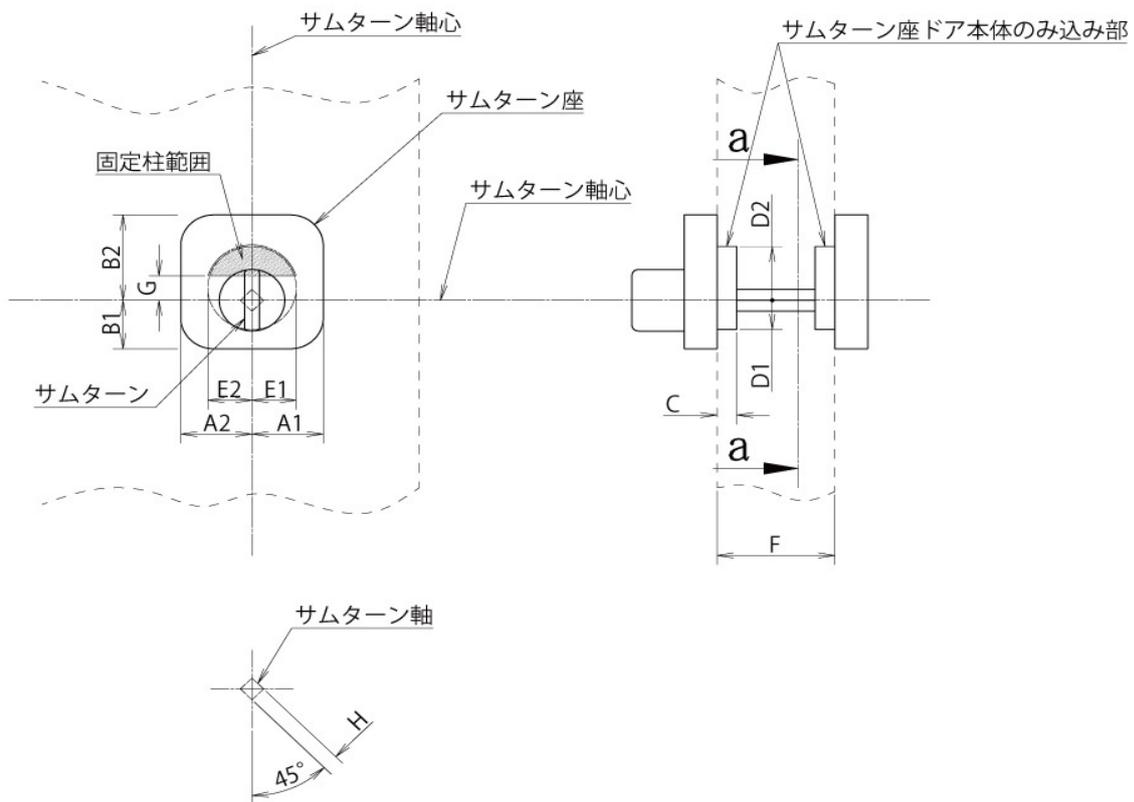
1. 対象部材

内部サムターン座

略称：CjK サムターン

2. 標準(共通)化の部位

内部サムターン座の標準(共通)化の部位を図1に示す。



a-a断面図

- A1・A2：サムターン軸心～サムターン座幅方向外縁寸法
- B1・B2：サムターン軸心～サムターン座高さ方向外縁寸法
- C：サムターン座ドア本体のみ込み部 深さ寸法
- D1・D2：サムターン軸心～サムターン座ドア本体のみ込み部外縁高さ寸法
- E1・E2：サムターン軸心～サムターン座ドア本体のみ込み部外縁幅寸法
- F：サムターン座表裏間寸法(扉厚)
- G：サムターン軸心～固定柱範囲下端
- H：サムターン軸心寸法

図1－標準(共通)化の部位

### 3. 寸法・形状

内部サムターン座の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

単位：mm

項目	寸法	
	①	②
A1・A2：サムターン軸心～サムターン座幅方向外縁寸法	$A1 \geq 14.5$ $A2 \geq 14.5$	$A1 \geq 13.5$ $A2 \geq 15.5$
B1・B2：サムターン軸心～サムターン座高さ方向外縁寸法	$B1 \geq 10.5$ $B2 \geq 18.5$	$B1 \geq 11.5$ $B2 \geq 17.5$
C：サムターン座ドア本体のみ込み部 深さ寸法	$0 \leq E \leq 6$	
D1・D2：サムターン軸心～サムターン座ドア本体のみ込み部外縁高さ寸法	$D1 \leq 9.5$ $D2 \leq 17.5$	$D1 \leq 10.5$ $D2 \leq 16.5$
E1・E2：サムターン軸心～サムターン座ドア本体のみ込み部外縁幅寸法	$E1 \leq 13.5$ $E2 \leq 13.5$	$E1 \leq 12.5$ $E2 \leq 14.5$
F：サムターン座表裏間寸法(扉厚)	33と36に対応可能なこと	
G：サムターン軸心～固定柱範囲下端	$\geq 8$	$\geq 8.5$
H：サムターン軸心寸法	5	

①：CJK部材基準書”010内部レバーハンドルケース錠”の①に対応

②：CJK部材基準書”010内部レバーハンドルケース錠”の②に対応

### 4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。

または、”CJK”マークを表示する。

部品への表示を行う場合は、サムターン座本体等交換時に確認可能な部位に表示する。

### 5. 特記事項

#### 5.1 適応範囲

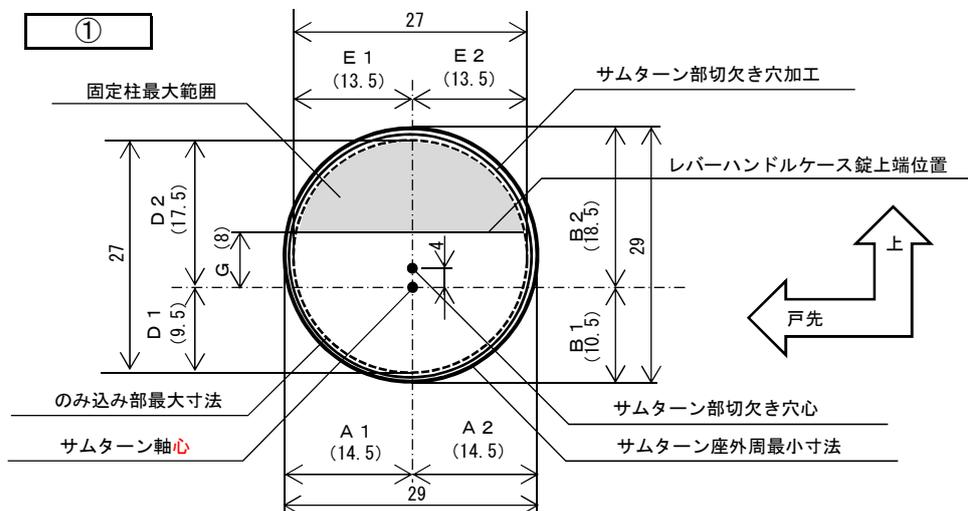
a)サムターンとサムターン座は、セット交換を前提とする。

b)CJK部材基準書”034内部建具 洋開き戸(扉厚)”、並びに”010内部建具レバーハンドルケース錠”の使用を前提とする。

c)サムターン座の交換に当たっては、レバーハンドル座等と干渉が無いことを確認すること。

#### 5.2 形状

サムターン座の形状は任意とするが、サムターン座外周最小寸法、並びに、のみ込み部最大寸法、及び固定柱の最大範囲・形状を図2に規定し、①に表1の①を、②に表1の②を図示する。



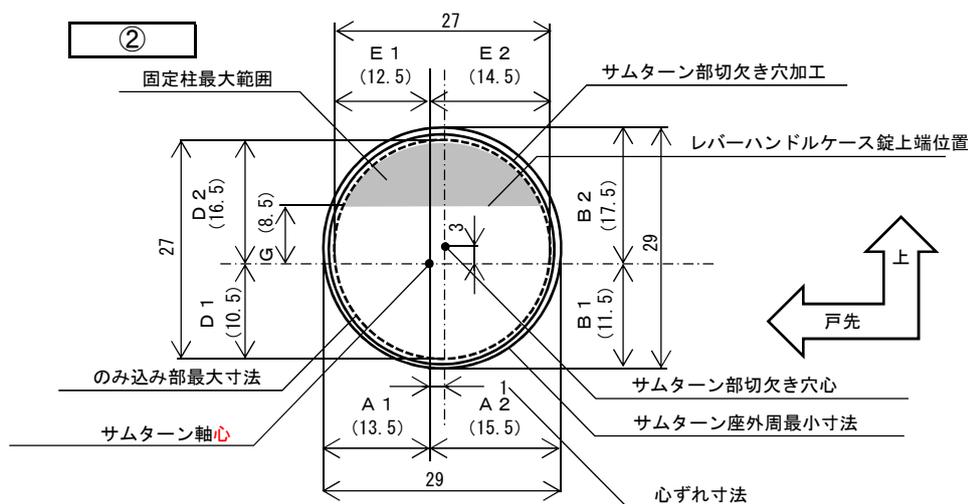


図2-サムターン座の寸法基準

## 6. 解説

- ・サムターン座の寸法は、サムターン部切欠き穴加工を隠ぺいでき、又、のみ込み部がサムターン部切欠き穴加工と干渉せずに取り付可能であることを前提とし、かつ、ドア本体の切欠き加工寸法の公差 $\pm 0.5\text{mm}$ を考慮し、図2の通り、それぞれ1mmの余裕を含む寸法規定とした。
- ・サムターン座のドア本体のみ込み深さは、CjK部材基準書”034内部洋開き戸（扉厚）”並びに”010内部レバーハンドルケース錠”の使用を前提とし、のみ込み部がレバーハンドルケース錠と干渉しない寸法を規定した。
- ・CjK部材基準書”010内部レバーハンドルケース錠”に対応し、2パターンに分け標準化している。今後、新規に設計する際は、図3に示すイメージの通り、①②両方を満足する設計寸法とすることが望ましい。
- ・サムターン座ドア本体のみ込み部の最大寸法は、取付時にケース錠に干渉しない寸法とした。また、のみ込みがなくとも良いこととし、最小寸法は「0」とした。

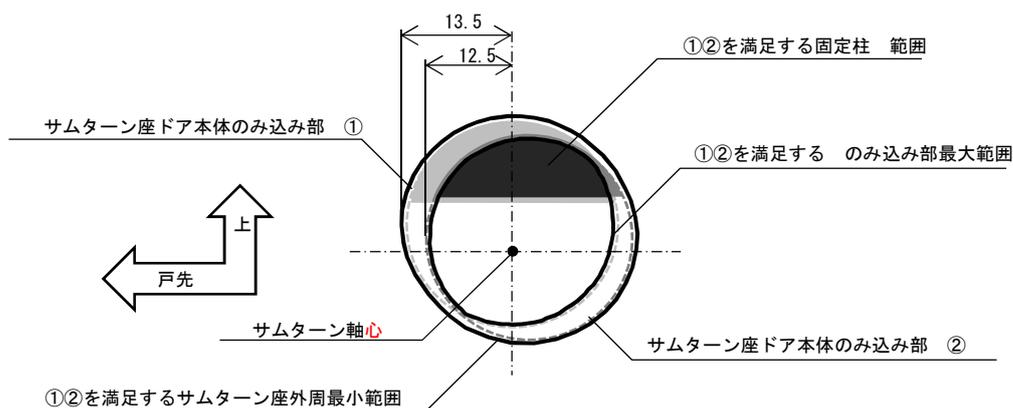


図3-①②を満足する部品イメージ

## 7. 共通事項

### 7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

### 7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記) 専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。

## 8. 改訂履歴

### 8.1 2022年1月27日改訂

- ・図1を三面図として製図法に適った図に修正し、図1、表1の寸法記号を取り直した。
- ・図1、表1の”サムターン軸心心”の名称を”サムターン軸心”に改訂し、”サムターン軸心寸法”の名称に”(扉厚)”を追加し、寸法を” $33 \leq M \leq 36$ ”から”33と36に対応可能なこと”に改訂した。
- ・図2、図3の”サムターン軸心心”を”サムターン軸心”に改訂した。